

# ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科  
宝崎隆祐

## 教育の責任

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
数学①(留学生)	1	12	講義	必修	入門科目群
数学①②	1	35	講義	必修	入門科目群
情報数学①	2-4	19	講義	選択	専門基礎科目群(情報デザイン)
仕事のための基礎数理1	2-4	20	講義	選択	専門基礎科目群(共通科目)
仕事のための基礎数理2	2-4	8	講義	選択	専門基礎科目群(共通科目)
情報デザイン演習 E1	3	11	講・演	選択	専門発展科目群(情報デザイン)
情報デザイン演習 E2	3	8	講・演	選択	専門発展科目群(情報デザイン)

## 教育の理念

身の回りから世界まで、学生が関心をもつ問題に対し科学的な態度で公平無私にその解決に向き合う科学的姿勢と現実に役立つツールを身につけさせることが、私の教育方針である。そのため、大学教育は真に難しい問題への学生の様々なアプローチを支援するツールとして、学生自身の価値ある意思決定の補助としての役割をもつに過ぎず、意思決定の結果責任はあくまで学生自身が負うこと、また問題解決に向けた真摯な努力が必要であることを学生に自覚してもらうことを、教育の精神的な意図としている。

## 教育の方法

理論と身近なツール（例えば、表計算ソフト等）を組み合わせた授業を心掛け、理論で学んだことをすぐに実践できる力を身につけさせるように指導している。「情報数学①」では、確率や行列に関する理論を学習した直後にエクセルの関数等を用いて計算させ、また試験も筆記とエクセルでの演習を組み合わせた内容としている。このようなやり方は、数学を除く他の授業でそうであり、試験の他にも、「仕事のための基礎数理1」では新型コロナ関連の実データを使った課題を、「情報デザイン演習 E1」では企業活動の実データを用いて学習内容の現実的な応用力を習得させる学習方法を採用している。また、学生自身の自学自習に資するため、Google Classroom に講義ノートや資料をアップロードして公表している。レポートや報告書のための作文リテラシーは、学校教育では手薄になりやすいものの、実社会では必要不可欠な資質であるため、課題提出文の添削も行っている。

## 教育の成果 および 今後の目標

「授業改善計画報告書」に記載のとおり

## 参考資料

1. 課題への学生報告書の添削（非公開）
2. 参考著書：宝崎隆祐・飯田耕司（コロナ社、2019）
3. グーグルドライブ：<https://drive.google.com/drive/my-drive>（非公開）